

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和元年度第3回定例会
開催日時	令和元年6月26日(水) 9時30分から11時40分まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：小野修平、西原みどり、伊藤正明、高井正、伊尻由起、伊藤邦子、遠藤修、大内俊、渡部國夫、小沼純子、大友禾弘子、小林道子 職員：高田館長、國府方館長補佐、山本分館長(田無)、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	委員：倉持伸江、山本一幸
議題	1 議題 (1) 審議事項 ア 令和元年度公民館主催事業計画書について (2) 報告事項 ア 第2回定例会の会議録について イ 行政報告 (ア) 事務事業評価について (イ) 喫茶コーナーの備品入替えについて ウ 公民館だより編集室報告 エ 都公連関係報告 (ア) 委員部会報告 (イ) 関東甲信越公民館研究大会について オ 令和元年度公民館主催事業報告書について カ 専門員研修報告 2 事務連絡他 ア 公民館事業評価について イ 次回開催について 3 研修 「社会教育及び公民館、公民館運営審議会について」 講師 高井委員
会議資料の名称	【資料】 令和元年度第3回定例会次第 資料1 令和元年度公民館主催事業計画書 資料2 第2回定例会会議録(案) 資料3 令和元年度公民館主催事業報告書 【参考資料】 参考資料1 令和元年度公民館主催事業計画書 参考資料2 令和元年度公民館主催事業報告書 参考資料3 事務事業評価実績
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 2名
会議内容	
<p>1 議題</p> <p>(1) 審議事項</p> <p>ア 令和元年度公民館主催事業計画書について</p> <p>○会長 事務局よりお願いする。</p> <p>○「資料1 令和元年度公民館主催事業計画書」に沿って、田無分館長、芝久保分館長、館長補佐、保谷駅前分館長から説明。</p> <p>○会長 初めての委員もいらっしゃるのので、利用者懇談会について説明をお願いしたい。</p>	

○事業係主査

公民館では、運営への市民参加という点から利用者懇談会を行っている。公民館利用団体の交流の場、団体と公民館、団体同士の意見交換の場として大切な機会であると考えている。年2回実施し、秋は次年度事業に対する要望や施設利用に関する要望等を聞き、それを次年度の事業計画や予算編成に反映させることを目的としている。年度末は、団体連絡箱の利用調整会と同時に行い、次年度の事業計画や運営方針等を伝える場としている。

○会長

質疑のある方。

○委員

ひばりが丘公民館事業は保育付講座か。受講者のキャリア形成等につながる講座なのか。

○館長補佐

保育付講座で、資格取得等にはつながらない。

○委員

芝久保公民館事業で理科読（りかどく）の読（どく）という言葉を使った意味は何か。

○芝久保分館長

理科読という言葉自体が一つの単語として認知されてきている。講座内容としては、図書館併設の公民館であることから、テーマに沿った本を読みながら興味を広げていくものである。

○委員

保谷駅前公民館事業のSDGsをわかりやすく伝えるようにして欲しい。

○委員

SDGsとは、世界193ヵ国で普及しており、ユネスコで持続可能な社会をつくるために決めた17の目標のことを言い、簡単に言うと、誰一人もとに残さず、みんなで仲良くしていきましょうということである。

○委員

市全体の考え方の中に、地域の人材活用という考え方があると思うが、公民館の講師人選の基準はあるのか。

書き初めについて、宿題の下請けを公民館がやるのは性質が違うが、学校の宿題はどのような取扱いなのか、どのようにやるべきなのか考え方を教えてほしい。

また、利用者懇談会が予定されているが、他部署の事業と参加者層が重なる時が見受けられるが全体的な調整は行っているのか。次回以降、教えてほしい。

○委員

公民館職員は忙しそうだが、新しい課題等に関する自己研鑽などは行っているのか。

○館長

地域人材の人選、書き初めの目的、全体調整については、整理をして次回以降に回答する。

今後、中長期計画作成する中で、エリアや実施時期等について現状を踏まえて中長期計画に結びつけていきたいと思っているので、整理して次回以降示したい。また、専門員の自己研鑽については日常的に各自が行っている。

○副会長

田無公民館で子ども向け事業の予定があれば、教えてほしい。

○田無分館長

冬休み企画として、多世代交流という形で地域の書道サークルの方に講師を依頼し、書道の事業を予定している。

○委員

家庭で書道をするスペースの問題などもあり、公民館でやってほしいというのは、家庭または子供たちの叫びであるものと思う。

○委員

保谷駅前公民館では、SDG sの中のどれが持続可能な社会をつくるために必要なかが重要なことであると考える。みんなが使っている言葉を大事にしていくべきと考える。

1 議題

(2) 報告事項

ア 第2回定例会会議録(案)について

○会長

事務局からお願いする。

○館長補佐

修正の連絡なし。

○会長

皆さんいかがか。

○委員

前回確認しなかったが、10期の会議録をどのように作るか諮った記憶がない。名前を出すことによって発言しにくくなる場合もあるが、確認をとって進めるべきと考える。

○会長

とりあえず、前回の会議録については修正なしということでよいか。

記録方法については要点記録にするか、全文記録にするか、名前を記載するか等について、皆さんの意見を伺いたい。

○委員

委員会、審議会毎に、決まりがあるのであれば紹介してほしい。

○館長

確認し、どのようにするか決めさせてもらいたい。

○会長

公民館なので、時間をかけて要点記録か全文記録か、そのメリットデメリットは何か、発言者の名前を出すか出さないか等、次回以降検討したい。今日の分はこれまでの体裁とする。

○委員

過去の会議録の中で問題が発生していなければ、よりいい方向を目指して検討すればよい。

1 議題

(2) 報告事項

イ 行政報告

○会長

事務局にお願いする。

○館長

2点報告する。

1点目、事務事業評価について。行財政改革の一環として平成17年度から実施しているものであり、各課事業の有効性、効率性、経済性について評価するものである。今年度公民館では、「視聴覚教育」「広報活動費」が対象となった。1次評価は担当課で評価し、2次評価は7月上旬に他部局の管理職による評価が行われ、中間評価結果を公表しパブリックコメントで市民要望を把握し、9月頃には改善の方向性が示され、次年度の予算編成等を行う予定である。

2点目、5月の休館日に老朽化に伴い、喫茶コーナーの机や椅子、展示用棚、看板等備品類の入替えを行った。その他、43インチのモニターを設置し、障がい者事業のPRや市や公民館の事業等のPRを積極的に行う。

○会長

行政報告について、質問はあるか。

○委員

パブコメの日程が決まっていたら知りたい。今後、43インチのモニターが設置されるということだが、どのくらいの大きさか。

○館長

パブリックコメントの日程については、まだ決まっていまい。43インチモニターは、家庭用の脚付きのもので、喫茶コーナーの営業中でお客さんが入ってくる時間帯に流すと聞いている。

1 議題

(2) 報告事項

ウ 公民館だより編集室報告

○会長

委員よりお願いする。

○委員

6月5日(水)に、柳沢公民館で編集会議があった。夏休みの自由研究の一つになればと、真夏に咲く花を身近に感じてもらい、観察ポイントを紹介している。8月の一面特集は西東京市の空襲。9月は、公民館6施設を特集する。

○会長

編集室報告について何かあるか。

○委員

7月1日号の1面の市民協力者と2面の事業講師が、同一人物であることが分かるような工夫があったらよかったのではないか。

○会長

編集室会議については、A委員とB委員に入ってもらおう。

1 議題

(2) 報告事項

エ 都公連関係報告

○会長

C委員から、委員部会の報告をお願いする。

○委員

報告事項として、東京学芸大学講座や都公連の研修参加者が少ないため、新任研修、スキルアップ研修、職員研修等関連する資料を、各公民館へ送付することになった。

中教審から出た社会教育施設の市長部局への移管については、衆議院を通過し参議院にかかっており、今後各市の動きが注目される。

三多摩地区で都公連に加盟しているのは11市だが、今後非加盟市の加盟や研修参加促進のために、協議会役員部会に要望書を挙げており、勧誘方法について詰めている。

9月7日(土)の委員部会研修は、越村康秀氏をお招きし、「公民館の活性化～若者に魅力のある公民館～」というテーマで14時から16時、小金井市市民会館もえぎホールで実施する。

公運審は、市民の代表として市民の目線で、市民と公民館をつなぐパイプ役として、市民の意思を行政の社会教育施設等に反映させるという役割を担っていることを認識すべきことである。

また、新井都公連顧問より「指定管理者制度～公民館の有料化～」について講義していただくことになった。

各市のトピックスとして、西東京市からは「地域づくり未来大学」と、公民館と教育委員会と共催事業である「ゆっくりと未来に向かおう」を紹介した。

2月1日に、都公連委員部会研修として昭島市で、「地方分権一括法関連」について講演がある。

○会長

関東ブロック研究大会について、事務局よりお願いする。

○館長補佐

8月22、23日開催の関東甲信越静公民館研究大会栃木大会及び参加申込方法等について説明。

○会長

参加したいという方は、いるか。

～挙手5人

1 議題

(2) 報告事項

オ 令和元年度公民館主催事業報告書について

○会長

続いて、事務局からお願いします。

○館長補佐

「資料3 令和元年度公民館主催事業報告書」 資料説明。

質疑なし

1 議題

(2) 報告事項

カ 専門員研修報告書について

○会長

事務局から報告をお願いします。

○館長補佐

6月24日(月)開催の専門員研修に、公運審委員から6名が参加。

テーマ「100年生き抜く子どもたちのために」～これからの地域と生涯学習の在り方～
について、東京大学大学院教育学研究科 牧野 篤氏よりお話しいただいた。

参加者が感想を述べる。

2 事務連絡他

ア 公民館事業評価について

イ 次回開催について

○会長

公民館事業評価及び次回日程について、事務局からお願いします。

○事業係主査

公民館事業評価の日程について説明。

第一次評価として公民館が行う内部評価を7月定例会に提出し、第二次評価として9月までに公民館運営審議会委員による外部評価を経て、10月の教育委員会に評価表を提出する。

○館長補佐

第4回定例会は、7月24日(水)、18時30分から第1会議室で開催する。

○会長

二次評価を行う委員の人選及び方法については、事務局を交えて別途検討する。

3 研修

「社会教育及び公民館、公民館運営審議会について」 講師 高井委員